

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいりんく		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムの充実 ・児童に合わせて工夫している ・年齢に合わせて支援を提供している	運動プログラム・集団プログラム・学習プログラム・個別プログラムなど、これらをバランスよく組み込むようにしている	子どもたちがステップアップできるようにプログラムの展開をつけていく
2	アンケートなどから保護者のニーズをくみ取り、イベントや外出支援を多く取り入れている	身近な体験ができる公園や図書館、お買い物などを通して公共のルールを学べるように工夫している	色々な人とつながりをもてるような場所に参加していく
3	療育の中での課題を職員間で共有し、同じ方向性での指導方法をとっている	それぞれの専門分野や経験を生かしてプログラムのアイデアを出しあっている	色々な研修に参加して、一人一人の指導員のレベルアップをしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員以外の地域の方との交流が少ないので、初めて会う人とのやりとりが難しい児童が多い	コロナ禍に成長段階をむかえた児童が多いので、外部との交流体験が少なかった	外出やイベントの参加を通して地域の人との交流をはかっていく
2	小規模な施設な為、外部研修に参加することが難しい	参加する研修がオンラインが増えている為、実践的な研修が少なかった	実践的な研修に参加できるように情報収集に努める
3	年齢の差があり、空間的使い方が難しい	成長を見守れる反面、年齢で空間を分けた時に分けることができない	外部の施設を利用しながら対応していく